

質問書回答31

件名) 長野自動車道 一本松トンネル(上り線)北補強工事

番号	質問箇所	質問事項	回答
1	特記仕様書P77 26-12 トンネル施設移設工 26-12-5 施工	「撤去された既設電力・通信ケーブル等については、残存物件として取扱い、本特記仕様書16.に記載する箇所にて保管する」と記載がありますが、仮設ケーブルダクト工及び仮設ケーブルラック工に敷設する電力・通信ケーブルについては、新規に購入した物を使用し、既設のケーブルと接続すると考えてよろしいでしょうか。ご教示下さい。	そのとおりお考えください。
2	設計図3(トンネル施設工) 8~13/18	「施設設備への分岐について、分岐に必要な配線は、設備側の既設配線を使用するものとする。」と記載がありますが、既設配線の長さが不明確なため、既設配線の数量をご教授ください。既設配線のケーブル長さが不足している場合は、新規材料を購入し施工すると考えてよろしいでしょうか。また、ケーブルを接続するためにジョイントBOXが必要になるのですが、接続材料の記載がないので、ご教示下さい。	既設配線の長さは把握しておりません。 設計数量ではケーブルの長さが不足する場合は監督員より数量の変更を指示します。 また、接続材料については施設工事施工管理要領に適合する材料を使用するものとお考えください。
3	設計図3(トンネル施設工) 8/18、13/18	高圧ケーブルの接続材料について記載がありません。詳細をご教示下さい。 また、高圧ケーブルの再接続後に耐圧試験を行う必要があるか、ご教示下さい。	高圧ケーブルの接続材料については施設工事施工管理要領に適合する材料を使用するものとお考えください。 また、耐圧試験は実施するものとし、費用は関連する単価項目に含みます。
4	割掛対象表参考内訳書 工事用電力設備費 数量内訳 割掛対象参考図1/5、2/5	数量内訳に「接地D種」の記載がありますが、割掛対象参考図2/5を確認しますと、400Vで送電する内容となっており、この場合C種設置工事が必要となります。引込受電盤を設置する近傍にA種接地工事が施してあれば、共用接地可能ですが、A種接地が施してある認識でよろしいでしょうか。 また、非常駐車帯に設置します配電盤1面から、3/4/5区間の分電盤まで電圧100Vにて送電する計画となっておりますが、3区間、5区間は送電距離が長すぎるため、電圧100Vでは送電が困難となる可能性があります。設計の送電計画について、ご教示下さい。 上記配電盤の30Aブレーカーより、分電盤に送電する計画となっておりますが、機器接続後の負荷容量が37A(ポンプ3台、トータルステーション18台)となり、配電盤のブレーカー容量が不足となります。機器の台数を変更するのか、ブレーカーの容量を上げるなど考えられますが、設計の送電計画についてご教示下さい。	A種設置工事が施工してあるかは不明です。 送電計画については設計図書及び割掛対象参考内訳書に示すとおりです。
5	割掛対象表参考内訳書 工事用電力設備費 割掛対象参考図2/5	参考図内の数量表に、VV-Rケーブル合計52.0mと記載がありますが、図面上は37.0m(電気室から引込盤まで)、55.0m(屋外)、トンネル内800.0mと記載があるので合計892.0mとなりますが、どちらが正しいのかご教示下さい。	割掛対象参考図(1/5)及び(2/5)に記載の通り電気室内15.0m、引込盤まで37.0m、変圧器盤まで余長を含めて951.9mとして、合計1003.9mを想定しています。
6	割掛対象表参考内訳書 建設機械の貨物運搬自動車等による運搬 【基面整正工・打換工等】 【土留工】	数量内訳に記載の『基地～現場間運搬距離：L=19.9km(片道)』について、距離をご確認下さい。 (長野県庁～麻績IC間の距離を調べますと35km(片道)程度と思われます)	現在内容確認中ですので、確認でき次第お知らせいたします。
7	割掛対象表参考内訳書 【仮設備工事費】工事用電力設備費 割掛対象参考図(2/5)	割掛対象参考図(2/5)に記載の分電盤からの配線延長(4区間：150m、3区間：340m、5区間：670m)について、この配線分の費用は数量に計上する、と考えてよろしいでしょうか。ご教示下さい。	割掛対象参考図(2/5)に示す配線の施工が必要と想定しています。

8	割掛対象表参考内訳書 【仮設備工事費】仮設足場工費 割掛対象参考図 (3/5)	仮設足場工費の設置・撤去数量：10,178.5掛m2の数量について、ご確認ください。 (設置延長1,078.5mに対して、数量が大きいと思われます)	ご指摘のとおり仮設足場工費の設置・撤去数量は1078.5掛m2です。
9	割掛対象表参考内訳書 【仮設備工事費】仮設足場工費	仮設足場工費の設置期間については、数量内訳に記載がございません。足場材の賃料期間について、ご教示下さい。	足場材の設置期間については技術提案の内容に応じて変動するものと考えられるので具体的な設置期間は想定していません。
10	03_設計図4(その他) 12/57 監視員通路工図(1) 参考図	『A、B、シフト区間 監視員通路工A 数量表』『インバート設置区間 監視員通路工A 数量表』に記載の均しコンクリート数量について、断面積0.083m2のため、10mあたり数量は0.83m3が正しいと思われます。ご確認くださいませよう、お願い致します。	ご指摘のとおり均しコンクリートの10mあたり数量は0.83m3です。
11	特記仕様書P19 19. 再生資源及び建設副産物に関する事項 19-1 建設副産物の活用等 特記仕様書P29 26-3-5【1】用排水構造物工 2) 仮設円形水路の種別	単価項目1：トンネルインバート補修工 A(昼夜)に含まれる『【1】仮設円形水路P(Po-B)・Φ0.20~0.30(P)(撤去)』について、その処分費は「特記仕様書19.の規定に従って処分するものとする」とありますが、『19-1 建設副産物の活用等』のどの項目に計上されておりますでしょうか。ご教示下さい。	廃プラスチック類に含まれるものとお考えください。
12	特記仕様書P35~36 26-3-5【5】土留工 土留工_横矢板撤去工 ・残存物件一覧表 別表-1	鉄矢木については、撤去材は「本特記仕様書19に記載する箇所までの運搬、処分とする」とあります。一方で、『残存物件一覧表 別表-1』からは鉄矢木を松代資材置場へ運搬するように読み取れます。鉄矢木については、スクラップとして処分するという点でよろしいでしょうか。ご教示下さい。	鉄矢木については松代資材置き場へ運搬するものとお考えください。
13	特記仕様書P82~84 26-14 基面整正工 26-14-2 種別	『アスファルト路面切削工A(昼夜)』の概要欄には、「既設アスファルト舗装面(平均厚4.0cm)」と記載頂いております。既設アスファルト舗装厚さの計算方法について、ご教示下さい。	既設アスファルト舗装厚さの計算方法については示しません。
14	特記仕様書P15~16 17-2 交通規制等 17-2-1(5)	「受注者は、交通規制を行う際は作業箇所の上流側に矢印板を装着した進入車両強制停止装置を設置しなければならない。」と記載頂いております。進入車両強制停止装置の費用については、各交通規制工の単価項目にて計上する、という考えにてよろしいでしょうか。ご教示下さい。	そのとおりにお考えください。
15	特記仕様書P96 28-2 監督員詰所	監督員詰所の費用を計上する単価項目について、ご教示下さい。	監督員詰所を設置する必要はありません。 上記については後日交付図書を訂正いたします。